

平成30年第4回定例会補正予算 補助金等点検評価調書

【評価結果の表示について】 A～補助金等としての妥当性を有し、補助率も基準以内で補助金等支給根拠等も整備されているため、問題なく補助金等として認める。

(単位：千円)

No	補助金等の名称		平成30年度 当初予算額	うち 一般財源	平成30年度 補正予算額	うち 一般財源	比較	うち 一般財源	事業の概要	一次評価		二次評価		
										評価結果	評価内容	評価結果	評価内容	
1	医療的介護対象者受入促進事業補助金		/	/	7,650	1,913	7,650	1,913	音更町内の指定通所支援事業所、生活介護事業所又は短期入所事業所において、医療的介護対象者の受入を促進するために、指定人員配置基準より看護師を多く配置した場合、人件費見合い分を補助する。 (補助率10分の10) (上限7,650千円)	A	現在、医療的介護対象者の受入れが可能な事業所は、町内では1か所のみである。一方、医療の進歩により、延命されたものの医療的介護が必要な状態になる者が、今後も増加していくものと予想され、その受入体制を整備することが求められている。本補助事業で受入れに必要な看護師の人件費を一部助成することにより、医療的介護対象者の受入体制が強化されるものと期待できる。	A	担当課の評価のとおりとする。	
	補助金	事業費補助金等												
	事業実施主体													音更町内の指定通所支援事業所、生活介護事業所又は短期入所事業所
	担当課	福祉課												
	終 期	1年												
2	平成30年度農業災害に係る農業経営維持資金利子補給金		/	/	債務負担行為	-	-	-	平成30年梅雨期(7月)豪雨等による災害等で被害を受けた農業者の経営再建及び経営維持安定を図ることを目的として、農業者が借り入れた農業経営時維持資金(利率0.7%)に対し貸付残高の0.35%に相当する利子補給を行う。	A	平成30年の気象災害により、農業経営が厳しい状況となっていることを受けて、日本政策金融公庫のセーフティーネット資金やJA信連の農業経営支援資金(5年間無利子)といった12月の組合員勘定精算期に向けた各種資金が用意されている。このことからこれらの資金と同種の目的を有するJA原資の資金についても5年間の実質無利子化措置をJAと協調して行うことで、農業経営の再建、維持安定を図ることができるものと期待される。	A	担当課の評価のとおりとする。	
	補助金	事業費補助金等												
	事業実施主体													音更町農業協同組合、木野農業協同組合
	担当課	農政課												
	終 期	5年												